

あわみなと通信

暮らしを支える港湾と空港の話

みなと報告

台風18号による大量流出した流木等の回収を「みずき」が実施

9月17日(日)に徳島県内を通過した台風18号の影響により、徳島県沖に河川から流出したものと考えられる多くの流木や漂流物などが確認されました。

私たちの事務所は船舶の航行の安全を確保するため、海洋環境整備船「みずき」によって9月19日(火)から9月25日(月)にかけて流木等漂流物(海草類、葦、漁具、生活ゴミなど)の回収作業を行いました。

この間に回収した流木等漂流物は約146m³となり、「みずき」が昨年の9月に回収した流木等漂流物の量を超えました。

今後も「みずき」は徳島県沖の瀬戸内海で流木等漂流物の回収を精力的に行い、船舶の航行の安全確保や海洋環境保全に努めていきます。

※「みずき」が回収した流木等漂流物約146m³はゴミ収集車約36.5台の量です。



海洋環境整備船「みずき」



平成29年台風18号 流木等漂流物の回収状況



INDEX ▶

- みなと報告 1
台風18号による大量流出した流木等の回収を「みずき」が実施
- みなとインフォメーション 2
徳島小松島港金磯地区岸壁(-11m)改良工事について、徳島小松島港沖洲(外)地区防波堤築造等工事について
- なるほどみなと講座 3
防波堤ができるまで
- みなと通信 3
報告「平成29年度 海をきれいにするための一般協力者の奉仕活動表彰」、報告「『ひのみね』によるみなと見学会 開催一覧」
案内「撫養港海岸 直轄海岸保全施設整備事業 パネル展示開催」

徳島小松島港金磯地区岸壁(-11m)改良工事について

■ 工事内容

徳島小松島港金磯地区の岸壁は、昭和40年代に整備してから約50年が経過し、老朽化による荷役への支障がはじめたことから、老朽化対策の工事を行っています。老朽化の激しい鉄筋コンクリート床版を撤去し、土台となる鋼管杭を補強したのち、新しい床版に打ちかえます。現在実施している工事は、平成30年3月までの予定です。

- ➡ 老朽化した床版は、カッターで切断してから撤去します。

※床版とは…港湾貨物の運搬車両や原木などの荷重を直接受ける部材のこと。



- ➡ 新しい床版の鉄筋を組立てます。床版の厚さは約40cmです。



徳島小松島港沖洲(外)地区防波堤築造等工事について

■ 工事内容

徳島小松島港沖洲(外)地区の静穏度を確保するために防波堤を延伸しています。既設の防波堤の一部を撤去して地盤を改良したのち、石材を投入して防波堤の土台となる基礎を造ります。現在実施している工事は、平成30年8月までの予定です。(なるほどみなと講座参照)

- ➡ 防波堤を支える海底地盤をSCP船で改良することで堅く強い地盤にします。



- ➡ 既設防波堤の消波ブロックを起重機船で撤去します。



※静穏度とは…港湾内における船舶が安全に操船、停泊、係留及び荷役ができるよう波を穏やかにする度合いのこと。

こまほんのなるほど！ みなと講座

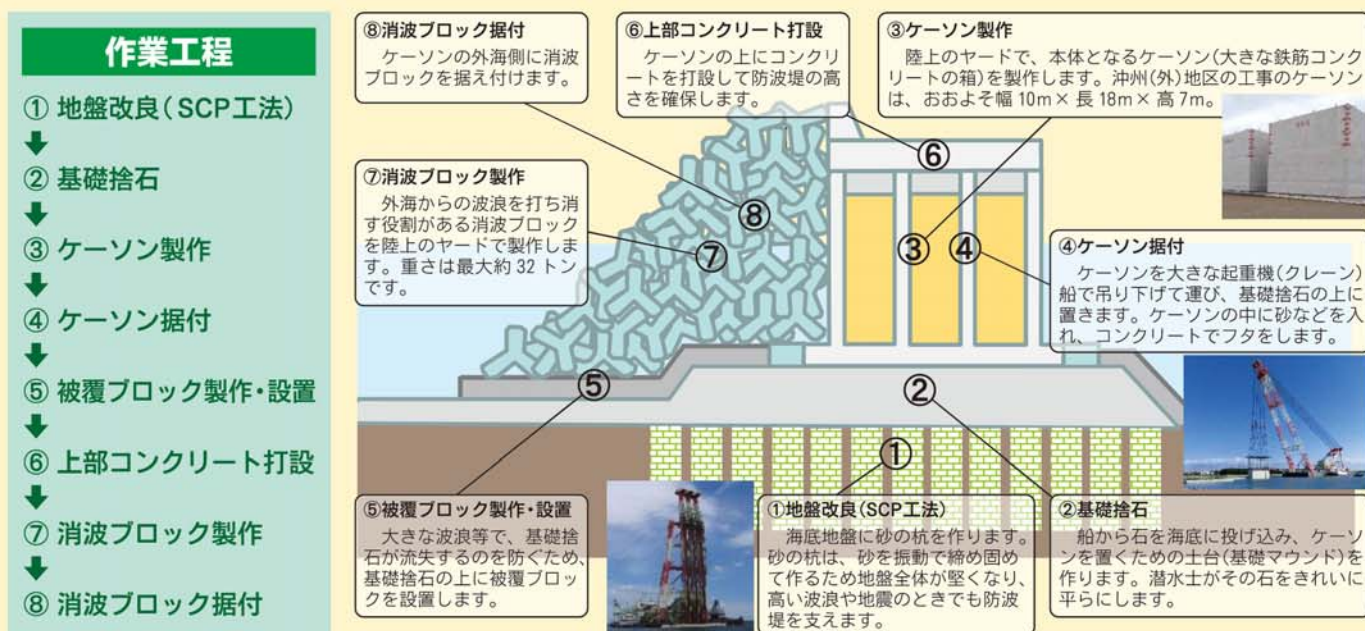
～港湾・空港のことをもっと知っていただくために～



ぼくの名前は「こまほん」。小松島港湾・空港整備事務所のマスコットキャラクターだよ。タヌキの耳としっぽが目印。一般公募によって名前がつけられたんだ。

第39回 防波堤ができるまで

防波堤は、外海からの波浪を遮り、港の中を静穏な状態に保つ役割を持っています。防波堤によって、フェリーや貨物船が安全に貨物の積卸しや航行をすることができます。今回は、沖洲(外)地区で整備している防波堤を例に「防波堤ができるまで」をご紹介します。



ご案内 撫養港海岸 直轄海岸保全施設整備事業 パネル展示開催

撫養港海岸直轄海岸保全施設整備事業の完成を記念し、以下のとおりパネル展示を鳴門市文化会館にて実施します。また、同日同会場では、鳴門市市制施行70周年の記念事業として、「釜石の奇跡」を実現に導いた、片田敏孝氏による防災意識啓発に関する講演が行われます。

日時：平成29年12月16日(土)
14:00～16:00
【開場13:00】

場所：鳴門市文化会館
鳴門市撫養町南浜字東浜24-7

その他：申込不要、入場無料
災害時にも役立つ製品の紹介・配布
※数に限りがあります



撫養港海岸直轄海岸保全施設整備事業 パネル展示

平成18年から事業に着手し、平成29年9月に完成した、鳴門市街地を津波から防護するための撫養港海岸直轄海岸保全施設整備事業に関するパネル展示を行います。

鳴門市市制施行70周年記念事業 防災意識啓発講演会

震災前より釜石市内で防災教育に取り組み、釜石市内の小中学生約3,000人を無事に避難させ、「釜石の奇跡」を実現に導いた、東京大学大学院特任教授の片田敏孝氏による防災意識啓発に関する講演が行われます。



読者のみなさま

こんにちは、事務所長の小田でございます。
秋から冬へと一気に向かう(お酒が美味しくなる)季節となり、私は体調に気をつけることも多くなりましたが、皆さまはいかがでしょう。
さて、あわみなと通信の39号をお届けします。
みなと報告では、先の台風による大雨等によってもたらされた海上浮遊ゴミを回収する「みずき」の活躍を掲載しています。
実は「みずき」も現在ドック入りして体調を整えているところ。もうすぐ元気な姿を見せてくれます。

小松島港湾・空港整備事務所長 小田 幸伸



出前講座の申し込み受付中!

当事務所では、海と空の「みなと」のこと、また当事務所の仕事について、広く皆さんに知っていただくために、出前講座(みなと学習、環境学習、防災学習)を開講しています。
楽しく学べる当事務所の出前講座、現場見学会のご依頼を受け付けています。



出前講座、現場見学のお問い合わせは・・・

当事務所 TEL (0885)-32-3357

または ホームページ「暮らしを支える港湾と空港の話」
<http://www.pa.skr.mlit.go.jp/komatsushima/>
よりお問い合わせください。